

1 小倉南区のまちづくりについて

(1) 小倉南区の紹介

【概況】

本市最大の面積を持つ小倉南区は、日本有数のカルスト台地で天然記念物の平尾台をはじめ、カブトガニ等の希少生物が多く生息する曽根干潟など、多彩で豊富な自然に恵まれています。農林水産業も盛んで、全国的に有名な合馬たけのこをはじめ、大葉春菊、小倉牛、豊前海一粒かきなど多彩な特産品も魅力的です。

地域の歴史は古く、古墳などの史跡が多く残されており、楽や神楽、盆踊、神幸行事には無形民俗文化財に指定されているものも多く、地域において大切に受け継がれています。

一方で、昭和60年1月の北九州モノレール開業をはじめ、幹線道路の整備など交通網が拡充されたことで大規模宅地開発が進み、人口は市内で2番目、平均年齢は最も若い区となっています。

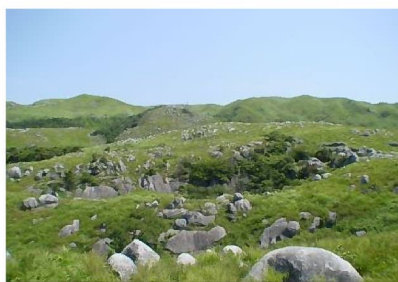
近年では、北部九州が自動車産業の拠点として発展する中で、区内の北九州臨空産業団地や北九州空港跡地産業団地等において自動車関連企業の立地が進んでいます。また、東九州自動車道の全線開通（北九州～鹿児島）や北九州空港での韓国や中国への海外定期便運航など、都市交通機能が一層充実してきています。

令和4年度は曽根東臨海スポーツ公園の整備が進み、ソラランド平尾台（平尾台自然の郷）での施設の充実など区の新たな魅力も増しています。また北九州空港の滑走路延伸事業も計画されており、更なる需要の拡大が見込まれています。

このように、小倉南区は豊かな自然と伝統が息づくまちであるとともに、新しい産業の立地が進むなど、自然・伝統・産業が調和したまちとして、今後ますます発展が期待されています。



横代神楽



平尾台



合馬竹林



北九州空港



北九州モノレール



曽根の神幸神事

【成り立ち】

昭和49年（1974年）4月1日、小倉区が南北に分かれて「小倉南区」が誕生しました。平成31年4月1日には、区制45周年を迎えました。

昭和12.9.1	企救町が小倉市と合併
昭和16.4.1	西谷村と中谷村が小倉市と合併
昭和17.5.15	曾根町が小倉市と合併
昭和23.9.10	東谷村が小倉市と合併
昭和38.2.10	五市が合併し、北九州市となる
昭和38.4.1	北九州市が政令指定都市となり区制施行(小倉区)
昭和49.4.1	小倉区が小倉北区と小倉南区に分区し、小倉南区が誕生

